「陸水研究」執筆要領（案）

1. 原稿の作成

原則としてワープロソフトを使用し，簡潔かつ明快に記述する．Microsoft Wordの使用を推奨する．「８．清書原稿の作成」に示す形式で，A4用紙縦置きに図や表を本文中に組み込んで原稿を作成することが望ましい．

上記形式での原稿の作成が困難な場合，投稿原稿の本文は，A4用紙縦置きで左詰め，1行35字程度，25～30行，で作成する．余白は上下・左右ともに30 mmとする．

ワープロソフトを使用しての原稿の作成が困難な場合には，編集委員長に連絡すること．

２．原稿の構成

（ⅰ）表紙，投稿の種別など

　すべての投稿原稿には表紙を付ける．表紙には，記事の種別（原著論文，総説，短報，調査・報告，学位論文抄録，支部会研究発表会講演要旨，雑報，その他），表題，著者名，連絡先を記入する．原稿本文にはページ番号，ページごとの行番号を記入する．

（ⅱ） 記載の順序

原著論文，総説，短報の記載順序は次の通りとする．

（a）和文原稿

１）和文表題

２）和文著者名

３）和文住所

４）英文著者名

５）英文住所

６）和文摘要（500字以内）

７）和文キーワード（3～5語）

８）英文摘要（Abstract，500 words 以内）

９）英文キーワード（3～5 words）

１０）本文（緒言，方法，結果，考察，結言）

　　　結言は必須ではない．

１１）謝辞

１２）文献

＊３）和文住所と５）英文住所は原稿本文の１ページ目の下端に記入する．

（b）英文原稿

１）英文表題

２）英文著者名

３）英文住所

４）和文著者名

５）和文住所

６）英文摘要（Abstract，500 words 以内）

７）英文キーワード（3～5 words）

８）和文摘要（500字以内）

９）和文キーワード（3～5語）

１０）本文（Introduction，Methods，Results，Discussion，Conclusion）

　　　Conclusion は必須ではない．

１１）謝辞

１２）文献

＊３）英文住所と５）和分住所は原稿本文の１ページ目の下端に記入する．

調査・報告，学位論文抄録，支部会研究発表会講演要旨，雑報，その他の記事は英語での記述を妨げるものではないが，原則として日本語で記述する．

調査・報告，学位論文抄録での記載順序は上記の「（a）和文原稿」に準ずる．ただし日本語での記述の場合，英文表題，英文著者名，英文住所，英文摘要，英文キーワードは必要としない．

支部会研究発表会講演要旨の記載は，別に定める支部会研究発表会の講演要旨執筆要領に則る．

雑報，その他の記載形式は特に指定しない．

３．活字指定

　句読点は「．」及び「，」とする．和文原稿での動植物種名はカタカナを使い，生物種の学名（属名および種小名），統計記号はイタリックを指定する．これらと数式の変数以外は，原則としてイタリックを使用しない．原則として，和文は明朝体（表題や項目名はゴシック体）で，英文ならびに数字はTimes New Roman体で記述する．

４．単位などの表記

　本文，図表ともにSI単位を用いる．g L-1，mg-O2 L-1，m s-1，g-C m-2 d-1のような表現では，・（ナカグロ）は使用せず，半角空白を挿入する．数字や欧文表記は半角文字を使用する．日付は西暦を用いる．

５．引用文献の記載

（ⅰ）本文中の引用

　　本文中の文献の引用は，「田中・佐藤（2010）によれば…」，「…である（田中, 2010；Tanaka and Sato，2010）」などの形式とする．著者が多い文献は，「佐藤ら（2010）は…」，「…である（Tanaka et al., 2010）」のように記述する．引用文献に番号は付けない．

（ⅱ）文献リストの作成

　「文献」の項目には本文中に引用されたもの全てを記載する．記載順序はアルファベット順とする．雑誌名は省略しないで表記する．

記入例

（a）論文

　田中太郎・佐藤二郎 (2010): 琵琶湖の水量．陸水研究，**1**, 1-10．

　Tanaka, T. and J. Sato (2010): Water volume in Lake Biwa. Limnological Study, **1**, 1-10.

（b）単行本の全部

田中太郎 (2010): 琵琶湖．陸水出版, 京都.

Tanaka, T. (2010): Lake Biwa. Rikusui Shuppan, Kyoto.

（c）単行本の章または分冊

田中太郎 (2010): 琵琶湖の水量. 琵琶湖, 佐藤二郎 (編), 100-120. 陸水出版, 京都.

Tanaka, T. (2010): Water Volume in Lake Biwa. In Lake Biwa, J. Sato (ed.), 100-120. Rikusui Shuppan, Kyoto.

６．図表の作成

（ⅰ）本文中の引用

和文の場合，本文中での引用は図1，図2～4，表1とする．英文の場合，本文中での引用はFig. 1，Fig. 2-4，Table 1とする．写真は図として扱う．

（ⅱ）表記

原著論文，総説，短報の場合，図表の中の文字表記は原則として英語を用いる．ただし生物の和名を併記する場合には日本語を使用してもよい．

（ⅲ）説明文（キャプション）

原著論文，総説，短報の場合，説明文は和文と英文の併記とする．これら以外の場合には，原則として和文のみとする．

（ⅳ）サイズ

図表は刷り上がり時に横幅が8 cmまたは16 cmであることを考慮して作成する．

（ⅴ）図の作成

　原則としてグラフィックソフトを使用し，鮮明に作図する．Microsoft Excel，Microsoft PowerPointの使用を推奨する．手書きの図も可とするが，黒インクで明瞭に描き，図中の線や記号，文字，数字はレタリング器具などを使用して鮮明に描く．図や写真を画像として保存する場合，ファイルフォーマットは，PDF，JPEG，EPS，TIFFなどの使用を推奨する．

線の太さは，原図で少なくとも0.2 mm以上を使用する．線の太さがpoint指定のソフトでは1 point以上の太さの線を使用する．網掛け等を使用する場合には，上記のファイルフォーマットで図や文字が鮮明に表示されることを確認する．カラーの図や写真を原稿として投稿しても良いが，それらは白黒で印刷される．

（ⅵ）表の作成

原則として表計算ソフトやグラフィックソフトを使用し，鮮明に作成する．Microsoft Excelの使用を推奨する．手書きの表も可とする．罫線の色は黒とし，縦の罫線は使用せず，横罫線もできるだけ少なくする．網掛けは使用しない．

その他の注意点は図の場合と同じとする．

７．投稿

　投稿は原則として，PDFファイルで行う．本文と図表など，全ての原稿を1つのPDFファイルに保存し，投稿原稿とする．印刷した場合に，本文と図表などが鮮明に印刷されることを確認しておく．

　PDFファイルでの投稿が困難な場合には，編集委員長に連絡すること．

８．清書原稿の作成

　原稿が受理された場合，著者は英文校閲を受けたのち，清書原稿を提出する．英文校閲は自費とする．

　A4用紙を用い，Microsoft Wordなどを使用して，清書原稿を別紙１「清書原稿の例」に示す形式で作成する．図や表は本文中の適切な部分に組み込む．このファイルをPDFファイルに変換する．印刷した清書原稿とともに，これら2つのファイルを編集委員長に提出する．

　上記の方法による清書原稿の提出が困難なときには，編集委員長に連絡すること．場合によっては，編集委員会で電子ファイルによる清書原稿を作成する．ただし，そのために生じた費用は，著者が負担する．

９．その他

　この規定に定めるもの以外の事項は，編集委員会の判断に委ねられる．

附則

本規定は，平成26年1月7日より施行する．